





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 古代遺産や多くの先人を輩出している谷地区では、谷地区活性化協議会による先人の生き方を学ぶ講座を開催し、これまでに山本徳次郎、川上貞夫を学んできた。令和元年には、「時代を切り拓いた文学者岡田美子まちづくりフォーラム」を開催、そこで**自主映画づくりを通したまちづくり**について示唆された。
- 令和元年夏から**谷地区の地域活性化に向けた特色ある地域づくり事業として、自主映画制作を通したまちづくりの可能性について探る事業を展開することとした。**

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【自主映画でまちづくり（地域資源を活用したまちづくり）】

令和元年8月、逢坂むらづくり協議会の短編映画の取組を現地視察。10月に自主映画まちづくり勉強会を立ち上げ、目的、予算、方法、計画についての協議や11月に地域創生の題材選びのためワークショップを実施した。

令和2年1月、シンポジウム「因幡の傘踊りの創始者山本徳次郎に学ぶ～地域創生開拓者：徳次郎について語ろう～」を実施し、3月にワークショップ形式で企画書づくりを実施。この時に、**現代の「村づくり・人づくり」につながる映画を活用したまちづくり計画を策定した。**

7月に**山本徳次郎自主映画制作実行委員会**を立ち上げ、制作部、資金部、広報部の3部制とし、**自分たちの手で映画づくりの実現に向けて動き始めた。**

10月シナリオ検討ワークショップ、11月演技・撮影ワークショップなど、8月のクランクインまでの間に数々のワークショップを開催し、「**自分たちでも映画が作れるかもしれない。**」という**機運が盛り上がった。**勉強会やワークショップを重ねていくことで、**地域住民がよりよいものにしようという一体感を感じることができ、令和3年11月14日クランクアップまで駆け抜けることができた。**



自主映画づくり勉強会



演技・撮影ワークショップ

## 3. 取組による成果や効果

- 出演者、スタッフ、協力者、保護者、地域の人々を含めると500名以上となり、**多くの地域住民が自主映画づくりに関わることができた。**
- 令和4年3月、コロナ禍で定員200名とした上映会が満席となった。会場からは「感動した。涙が出た。」「素人集団がよくやった。」「国府町に映画の文化が興った。百年後にも残る。」の声があがった。
- 完成した自主映画DVD「傘に愛をこめて 山本徳次郎」を市内全地区公民館、小・中・義務教育学校・高等学校、社会教育・公共施設等に進呈し、教育的活用を図った。
- **自主映画制作を通じて、地域住民一人一人の潜在的な魅力発見につながった。**
- **参加者を中心として自主活動グループが新たに誕生した。**
- 地元・国府東小学校の児童が学習発表会等で徳次郎自主映画主題歌を**合唱曲として愛唱している。**



「傘に愛をこめて」山本徳次郎上映会

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 谷地区活性化協議会の各部専門委員会、総括3部会を中心として取り組みの検証を行っている。
- 年度末に各種事業の現状や課題、活動ごとの振り返り、総括を行い、次年度につなげている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

谷地区公民館は公民館・子育て支援センター・国府町デイサービスセンター三者の複合施設であり、**子どもから高齢者まで多様な人々が利用しているので、連絡調整し、安心安全な公民館事業を展開することを大切にしている。**また、複合施設のため、修繕、点検、維持業務も多く、**行政機関との迅速な連携強化に努めている。**



公民館まつりで交流

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 世代間交流の促進  
三者合同の複合施設でもあり、**子ども・保護者・デイ通所者がふれあい、学び合える事業（昔遊び、駄菓子屋、ポン菓子、ちまきづくり交流など）を展開していく。**
- 地域住民のスタッフ活用  
納涼七夕・公民館まつり、雪合戦などの事業に**地域住民でもある保育園・小学生の保護者をスタッフとして活躍させていきたい。**



子育て支援の子ども達と交流